

僕らはスズメ^(※1)

高普第 13 回卒 清水 英和^(※2)



入学したのが昭和 33 年、かの有名な法律が施行された春である。

創立 60 周年を祝った年でもあるが、どんな内容であったか、まったく記憶がない。

木造校舎が取り壊されビッカビッカの校舎に入った僕たちを街の人々は、金の鳥かごにスズメ、と嘆いたのだから。スズメの一羽であった僕が覚えていようもないのだ。

僕を含めて少なくとも同期生の大半は、歴史と伝統を誇る県立相馬高校にはふさわしくない生徒であった。

それでも 3 年を終える頃には、それなりに相高生らしくなっていく。

伝統は空気のようなものだ。

在校生諸君、もとより 90 年の歴史から学ぶことは多い。しかしそれに囚われることなく諸君が 3 年間で一日一日模索し学ぶことこそ、相高 100 年の歴史と伝統を造りあげる。

スズメと呼ばれて 30 年を過ぎた。相も変わらずスズメのままだ。

鳩ぐらいにはなったやつもいるが、鷹になったという話はまだ聞いていない。

(※1) 創立 90 周年記念誌『紅の旗』(1988(昭和 63)年 9 月 2 日発行)「我ら OB も頑張っているぞ!」より。

(※2) 旧姓丸山。昭和 36 (1961) 年卒、中村出身。